

**CLUB WEEKLY No.0030**

# よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツオ

## 会員増強・新クラブ結成推進月間

例会日：2025年8月25日(令和7年8月25日)



会長 平松悦子

**今日の例会**2025年8月25日  
オンライン 12:30~**次回の例会**2025年9月1日  
12:30~

- 今日の歌 【奉仕の理想】
- 出席報告
- 卓話：古河 亜紀子

- 今日の歌 【四つのテスト】
- 出席報告
- ニコニコ報告
- 卓話：小林 友美子

**会長の時間**

平松悦子

私たち大阪上方ロータリークラブは、昨年度新たに誕生した、まだ若いクラブです。けれども、設立当初から明確なビジョンを持って活動してまいりました。それが、「ポリオに特化した奉仕クラブ」という方向性です。ロータリーの長年の取り組みであるポリオ撲滅運動に、私たちも明確な意思を持って関わっていこうという想いで始まりました。私自身、改めてこのポリオ問題を深く学ぶ中で、「世界に残された課題を無視しない」というロータリー精神の本質に強く心を動かされました。

また、昨年度より取り組んでいるのが、「子ども食堂」の運営です。これは、ポリオという“世界的な課題”と並行して、地域の“足元の課題”にも目を向けていたいという、クラブメンバーの強い意志から生まれた活動です。毎月1回、小さな場所で、あたたかいご飯と安心できる空間を、子どもたちに提供しています。特別なことをしているわけではありませんが、そこにあるのは、人と人のつながりと、誰かを思いやる心です。私は奉仕とは「行動」であり、「継続」であり、何より「誠意」だと思っております。大きなことをする必要はありません。一人の子どもの笑顔や、地域の方の「ありがとう」という言葉が、私たちの心のエネルギーとなります。このような取り組みを、これからも“無理なく・楽しく・意味のあるかたち”で続けていきたいと考えています。

今年度、会長として私が掲げたいテーマは、「しなやかに、そしてしっかりとー新しいクラブだからできる奉仕を」です。まだ歴史の浅いクラブだからこそ、私たちには柔軟さと可能性があります。固定観念に縛られず、時代や地域のニーズに合わせて、ロータリーの精神を今の形で表現していきたいのです。

- ・若い世代にアプローチするにはどうすればよいか
- ・SNS や動画など、新しい伝え方をどう取り入れるか
- ・女性の参加や多様な価値観をどう受け入れていくか

こうした課題に前向きに向き合いながら、「上方クラブならではのロータリー活動」を築いていけたらと思っています。

もちろん、私一人の力ではできません。むしろ、私には皆さまの知恵と力が必要です。だからこそ、この1年は“皆でつくるクラブ”にしていきたいと強く願っています。

最後に。

ロータリーの原点は、「超我の奉仕」——つまり、自分のことよりも他者のために、という精神です。その原点に、私たちはいつも立ち返りながら、未来に向かって歩み続けるべきだと思います。

大阪上方ロータリークラブが、地域に、そして世界に、小さくても確かな光を届けられる存在であり続けられるよう、どうかこれからのお1年間、皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 幹事報告

久保太公矢

\* MyRotaery 登録が未了の方、今後も会員同志サポートしながら全員登録にご協力お願いいたします。

\* 2024-2025 年度クラブ優秀賞を当クラブが受賞した旨の連絡がありましたのでお知らせします。

皆さん、おめでとうございます！

## 出席報告

2025年8月18日

※() 内数字は出席免除会員の出席人数 会員：24名（免除0名）

会員数	24(0)名
出席会員数	15(0)名
メーキャップ	2名
ゲスト	1名
合 計	18名

15/24 出席率：62.5%



## ニコニコ報告

2025年8月18日

溝畠 正信 様 永田さん、卓話よろしくお願いします。  
大阪城南 RC の細川さん、元メンバーの  
舛井さん ようこそ

宮岸 隆 様 まだまだ暑い

竹谷 美和 様 暑さに負けないように後半がんばりましょう

青戸 佳世 様 初めての夜例会。よろしくお願いします。

遠藤 孝二 様 まだまだ暑い日が続きそうです。  
皆様ご自愛ください。

平松 悅子 様 永田先生様、本日有難うございました。

安田 剛 様 夜例会ガンバリましょう

久保 太公矢 様 いつもありがとうございます

道木 良明 様 毎日暑いですが身体にきをつけてお暮らし  
道木 憲子 様 くださいませ

濱部 英和 様 お身体 ご自愛下さい

水野 順 様 阪神、強すぎますね

間嶋 伸治 様 今日も笑顔で！いつもありがとうございます

朝倉 千勝 様 8月はズワイ蟹あります

細川 様 (大阪城南 RC) 本日はよろしくお願い致します

皆様、ありがとうございました

15名 合 計 ¥24,000

皆勤賞内祝 溝畠正信様、竹谷美和様、道木憲子様

合 計 ¥6,000

本日はパキスタンでの「ポリオワクチン投与活動の最前線」の様子をお話しさせていただきます。

私がポリオ根絶を目指すきっかけは2011年5月の「友」に載っていた2830地区（青森）関場慶博氏のインドでの活動投稿を読んで、翌年に活動に参加をさせていただいた事から始まります。

ご縁により翌年からは事務局を任せられ、2014年に根絶をされましたかが2020年まで続けられました。（関場さんは2001年から活動をスタートしています）

2016年からはインドと並行をしてパキスタンでの活動を開始しています。

2016年と2017年はひとりで現地を訪れて活動内容を模索、2018年には数名でトライアル活動、2019年からは本格的に活動（溝畠さんも参加）をスタートしました。

2020年から2年間はコロナにより活動を中断しましたが、2022年から再開、2025年は80名を超えるメンバーで活動を行う予定です。

私たちが活動をするカラチはパキスタン南部にある世界7位の人口の都市（2016年で約2300万人、現在は2400万人を超えていると思われます）であり経済の中心地です。

私が2016年に訪れた時にはテロが発生をしていましたので緊張感がありましたが、2018年以降は治安も良くなり、日本からの駐在員も家族での赴任が許されるようになっています。

現地では2007年から中央駅で、2012年からは高速ゲートにて24時間体制でワクチンの投与活動が行われています。

（カラチに入って来る方はこの2箇所を通るため）

年間に投与する数は駅で36万人、高速では100万人以上にもなります。それでも半分の方はワクチンを拒否して通過してしまうので、ここが最大の課題でもあります。

私たちはこの2か所でポリオワーカーと組んで投与活動をしていますが、昨年度からは動く列車内（3時間）でも始めました。

車内にはたくさん的人が乗車し通路まで座ってまたは寝ている関係で、移動する際には人の頭を跨ぐ様な感じで子供を見付けては投与をします。

これ以外には戸別訪問として自宅を訪ねるのですが、自宅を待てないテント生活者を訪ねる時には初めての参加者は驚きがあります。それは子供たちが靴を履いていないのは当たり前で、もっと過酷なテントではパンツを履いていない子供も多く見かけます。

この様な子供は体を洗うこともないので汚れているのですが、最初は抵抗感があった参加者はいつの間にか自身で抱きしめてワクチンを投与しています。

それ以外にもウォータープラント（浄水器を付けて綺麗な水を提供）のプロジェクトを行なっていて現在13基を設置しました。

カラチは5メートルも掘ると水が出るのですが塩分が高く飲むには適していません。

しかし、現地の方はこれを飲むしかありませんので飲料や生活水として利用をしています。

1か所のプラントで2,000から3,000名の方へ綺麗な水が提供をされるのですが、その費用は5,000ドルからです。

皆さんのクラブや個人でも一ついかがですか。

プラントには寄贈者のパネルも付けますよ。

今後は首都イスラマバードがある北部へ活動を広げ、最終的にはアフガニスタンとの国境エリア（反政府勢力が活動をする危険地帯）へ私達が入ることが出来た時にパキスタンからポリオが根絶される事になると思います。

最後に、こんな経験が出来るのもロータリアンだからです。

「人生を変える」とまでは言いませんが、間違いなく「ロータリーライフ」は変わりますので、一緒にパキスタンへ行きませんか！  
(私は人生を変える体験をさせてもらっています)

ポリオが根絶（過去には天然痘が根絶されています）された時には、国際ロータリーはノーベル平和賞がもらえるかも知れませんので、その一員となる事が出来るかも？



## 2024-25 年度皆勤賞



2024-25 年度例会 全 25 回  
おつかれさまです！！

## 2011年5月「友」より

永田雄治様がポリオに携わるキッカケとなった記事を今号、次号に渡って週報に掲載します



### ポリオ撲滅に大きな貢献をしたロータリー

2月26日午前3時、真夜中の黒い空を裂く稲妻と雷雨の出迎えを受けながら、私はニューデリー・インディラガンジー国際空港に着きました。稲妻と雷雨、この時期のインド訪問で受ける初めての体験でした。2月は乾期で、めったに雨が降ることのないインドです。「地球温暖化の影響でしょう。最近のインドの天候はとても変です」と、出迎えのガイドが話していました。雷雨の中、ホテルまで1時間のドライブ。ホテルにチェックインし、部屋に落ち着いたらもう6時近くでした。

1時間の仮眠をとり、9時からのNID Rallyへ参

加しました。NID Rallyは、翌日のN I D (National Immunization Day 全国免疫接種日=全国一斉ポリオワクチン投与日) の社会意識高揚のために、地元の小中高校生と一緒に、インドと世界から参加したロータリアンが街頭をパレードするイベントで、参加者はおよそ2,000人。開会式では日本代表として、次のようにあいさつしました。「子どもの未来を奪う邪悪なポリオへ、最後の力強い一撃を加えるため、日本のロータリーを代表して40人のロータリアンおよびロータリー家族が参加しました。私たちは常にインドのロータリアンの皆さんとともにあります」

その後、約2時間にわたり街頭を「End Polio Now」の旗を振りながら練り歩きました。隣を歩いていたご夫妻はニュージーランドからやってきたとのことでしたので、「22日に貴国のクライストチャーチで大きな地震がありましたね?」と話しかけたところ、「実は私たちはクライストチャーチに住んでいるのです。家はつぶれてしましましたが、幸い命だけは助かりました」「地震の被害に遭われたのに、インドまでやってこられたのですか?」「はい、家はまた建てることができますが、一度ポリオに感染したら下肢のまひは治りません。少しでもお役にたてればと思ってやってきました」。ポリオ撲滅活動はこのようなロータリアンによって支えられているのだと思い、胸に熱いものが込み上げてきました。